

## 2. 調査方法

### 2-1. スウェーデン式サウンディング試験

スウェーデン式サウンディング試験は、原位置における土の静的貫入抵抗を測定し、その硬軟もしくは締まり具合と土層の構成を判定する為の静的貫入抵抗を求めることを目的とする。

試験方法は、ロッドに 5kgf, 15kgf, 25kgf, 50kgf, 75kgf, 100kgf と段階的に载荷して、そのときの貫入量を測定する。100kgf 载荷時にロッドの貫入が止まったら、その時の貫入量を記録し、ロッドの目盛り線 (25 cm) まで回転させ、貫入させるのに要する半回転数 (Na) を測定する。回転の途中で硬い層に達し、貫入量 5cm 当たりの半回転数が 50 回以上となる場合、またはハンドルの反発力が著しく大きくなる場合、大きな石などに突き当たりその上で空転する場合は測定をやめる。

貫入量 L (cm) に対応する半回転数 Na は、次式を用いて貫入量 1m 当たりの半回転数 Nsw に換算して記録する。

$$N_{sw} = 100 / L \cdot N_a$$

L が 25cm の場合は、 $N_{sw} = 4 \cdot N_a$

ここに、

Nsw : 貫入量 1m 当りの半回転数 (半回転数/m)

Na : 半回転数 (回)

L : 貫入量 (cm)

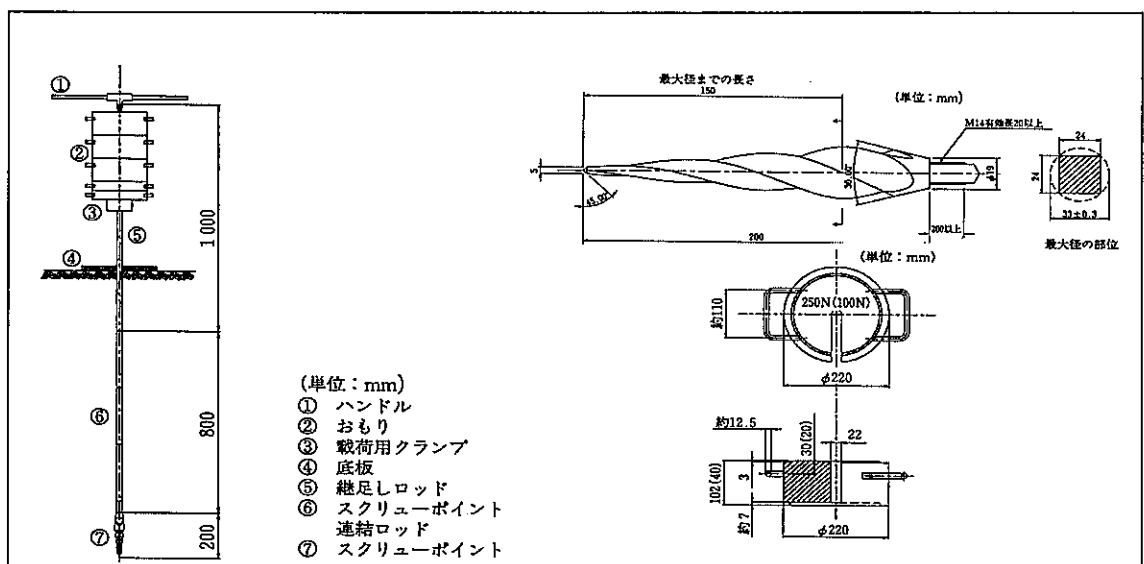


図-2.1 スウェーデン式サウンディング試験機概略図

地盤調査の方法と解説 平成 16 年 6 月 : (社)地盤工学会 P282 より